



確認しましょう 近くの避難所

▶ 町内には次の避難所があります。家の近くの避難所を確認し、家族で災害時の行動を話し合っておきましょう。また、地震などの災害は、必ず自宅で被害にあうとは限りません。職場や習い事先で被災した場合の避難所も把握しておくとう安心です。避難勧告や避難指示が発表されていなくても、危険を感じたら早めに自主避難してください。



自主避難所

災害発生の恐れがあり、住民が自主的に避難する場合、一時的に居住する施設。

- 福智町役場
- 中央公民館
- 公民館方城分館

福祉避難所

体の不自由な人を優先する施設。

- コスモス保健センター

避難勧告・避難指示時の避難所

避難勧告や避難指示がなされた場合、住民が一時的に居住する施設。

- 金田体育センター
- 方城中学校
- ふれあい塾
- やすらぎ館
- 金田中学校
- 弁城小学校
- 方城保健センター
- 大浦隣保館
- ふれあい館
- 上野小学校
- 方城体育館
- 市場小学校
- 中央保育所
- 赤池中学校
- 伊方小学校

避難場所

地震災害の場合に避難場所として一時的に利用する場所。(居住はできません)

- ・ 赤池グラウンド
- ・ 方城グラウンド
- ・ 金田中グラウンド
- ・ 市場小グラウンド
- ・ 伊方小グラウンド
- ・ ふれあいスポーツ公園多目的広場
- ・ 赤池中グラウンド
- ・ 方城中グラウンド
- ・ 上野小グラウンド
- ・ 弁城小グラウンド



▶ 「阪神・淡路大震災」は、平成7年1月17日に発生した「兵庫南部地震」による大規模地震災害。地震の規模はマグニチュード7.3、最大震度7。発生当時、戦後最多となる6,434人の死者を出し、家屋だけでなく、鉄道や高速道路なども甚大な被害を受けました。(写真提供・神戸市)



防災と支援と絆

前触れ無く突如襲ってきた東日本大震災から4年、そして阪神・淡路大震災から20年。あの惨状を過去の出来事として捉えるだけでなく、教訓としても生かすべきではないでしょうか。

わたしたちを突然襲う 災害に対して向き直す

平成26年度、福智町では人命に影響があるような大きな災害は起きていません。しかし、全国を見渡すと、8月の広島土砂災害や9月の御嶽山噴火など、死者が出る大規模な災害が発生しています。わたしたちの身近でも、いつこのような大規模災害が起きるかわかりません。町内でも、平成21年7月に「中国・九州北部豪雨」により上弁城地区で土砂災害が発生し、尊い命が失われています。あの東日本大震災からもうすぐ4年、そして阪神・淡路大震災から20年を迎えたいま、あの記憶を風化させずに、災害と防災、そしてわたしたちが個人や地域でできることについて見つめなおします。



↑平成21年に上弁城で起きた土砂災害。町では、この災害が起きた7月24日を「福智町防災の日」と定めました。

生き残りを左右する 災害発生時の避難

気象庁は、災害発生の恐れがあるときに「注意報」を、重大な災害の恐れがあるときに「警報」を発表します。さらに「警報」の発表基準をはるかに超える大雨や暴風、津波などが予想され、重大な災害による危険性が高まった際には「特別警報」を発表し、最大限の警戒を呼びかけます。町からも「避難準備情報」「避難勧告」「避難指示」という3段階の避難情報を、防災無線や携帯電話への緊急速報メールでお知らせし、避難を呼びかけます。これらの避難情報が出た場合には、冷静な判断と行動で、速やかに身の安全を確保しましょう。災害により自宅などが危険だと判断される場合は、町内にある29か所の避難所に避難してください。日頃から「最悪」を想定し、ハザードマップなどで家族や地域で災害時の避難場所や避難方法を話し合っておくと素早い行動がとれます。また、避難ルートや危険箇所などを、実際に徒歩や車で確認することで、いざという時に慌てることがなくなり安心です。突然の災害で家族と離ればなれになることも想定されます。自宅から一番近い避難所と、その経路は必ず家族で確認しておきましょう。また、災害時の集合場所や、緊急時の連絡先を普段から家族で話し合っておきましょう。